

次号予告

特集

キーワードから読み解くこれからの 精神医学・精神医療の 10 の潮流

企画：『精神医学』編集委員会

編集：鈴木道雄（富山大学名誉教授）

精神科臨床に携わるうえで知っておきたい、比較的近年に登場してきた精神医学・精神医療の領域の概念や用語などが多数存在する。本特集では、なかでも重要と考えられるキーワードを幅広く取り上げ、それらが重視されるようになった背景、臨床に与えるインパクト、課題や展望などを解説したキーワード集とすることを意図した。これらのキーワードから、現在から未来へと向かう精神医学・精神医療の潮流を読み解くことを試み、読者とともに考える材料としたい。

潮流①：カテゴリー診断を超えて：RDoC／HiTOP／診断横断的睡眠リズム療法／ワン・ストップケアに基づく若者メンタルヘルスサービス ほか

潮流②：個別化 精密精神医学と個別化精神医療／デジタル・フェノタイピング／測定に基づくケア／プロセスベースドセラピー ほか

潮流③：発達・進化の視点 進化精神医学／ポリヴェーガル理論／ポリジェニックリスクスコア／エピジェネティクス／思春期学 ほか

潮流④：新たな神経メカニズム VLOSLP／次世代の統合失調症治療薬／サイケデリック療法／抗アミロイドβ抗体／ニューロフィードバック療法 ほか

潮流⑤：IT 精神医学 計算論的精神医学／遠隔医療・オンライン診療／ロボット／デジタル治療 ほか

潮流⑥：当事者自身が取り組む治療 当事者研究／マインドフルネス認知療法／ACT／DBT／NET／CBT-I／iCBT ほか

潮流⑦：ストレングス ポジティブ精神医学／レジリエンス／ネガティブケイパビリティ／サルトグラフィ ほか

潮流⑧：日常体験と精神医学 ゲーム障害／軽度行動障害／主観的認知機能低下／慢性疼痛と精神疾患／自閉スペクトラム症のカモフラージュ ほか

潮流⑨：共同創造 共同創造／PPI／SDM／価値精神医学／パーソナルリカバリー支援 ほか

潮流⑩：社会のなかの精神医学 社会的処方／障害者権利条約／PFA／アンチスティグマ活動／メンタルヘルスリテラシー教育／IPS／いわゆる「にも包括」／認知症基本法 ほか

2026 年 5 月中旬発行 定価：5,610 円（本体 5,100 円＋税 10%）